

28年8月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年8月1日～ 28年8月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は39社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	△ 19.4	0.0	1.7
	外材	△ 13.9	△ 5.6	△ 2.9
販売動向	国産材	△ 21.7	0.0	5.4
	外材	△ 18.1	4.2	△ 1.5
在庫動向	国産材	△ 1.7	5.0	△ 1.8
	外材	△ 8.3	△ 5.6	△ 1.5

・国産材製材品の仕入れは8月の減少が、9月、10月はほぼ横ばい。外材は3ヵ月連続して減少。

・国産材製材品の販売は8月の減少が、9月は横ばい、10月は微増。外材は8月の減少が、9月は微増、10月はわずかの減少。

・国産材製材品の在庫はわずかな増減で推移。外材は3ヵ月連続して減少するが、その減少幅は縮小する。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	△ 2.4	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	4.3	4.8
ヒノキ正角	△ 6.3	2.1	2.3
ヒノキ土台角	△ 4.2	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 10.9	△ 2.2	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 4.5	△ 2.3	0.0
米ツガ割物(現地挽)	△ 2.3	2.3	0.0
米マツ平角	△ 4.5	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 6.3	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	6.3	0.0	0.0
レッドウッド集成平角	0.0	2.0	△ 2.2
型枠合板(輸入)	△ 25.0	△ 6.8	△ 5.0
針葉樹構造用合板	13.6	13.6	10.0
針葉樹構造用合板(厚物)	9.1	9.1	7.5

・スギ正角(グリーン、KD共)ほぼ保合。ヒノキ正角及び土台角は8月のやや弱含みが、8月、9月はやや強含みないし横ばい。

・米ツガは8月のやや弱含みが9月、10月はほぼ保合。

・米マツ平角は8月のやや弱含みが、9月、10月は横ばい。

・北洋アカマツタルキは8月のやや弱含みが、9月、10月は横ばい。

・WW集成管柱及びRW集成平角はほぼ保合で推移。

・型枠合板は弱含みないしやや弱含みで推移。針葉樹構造用合板はやや強含みで推移。